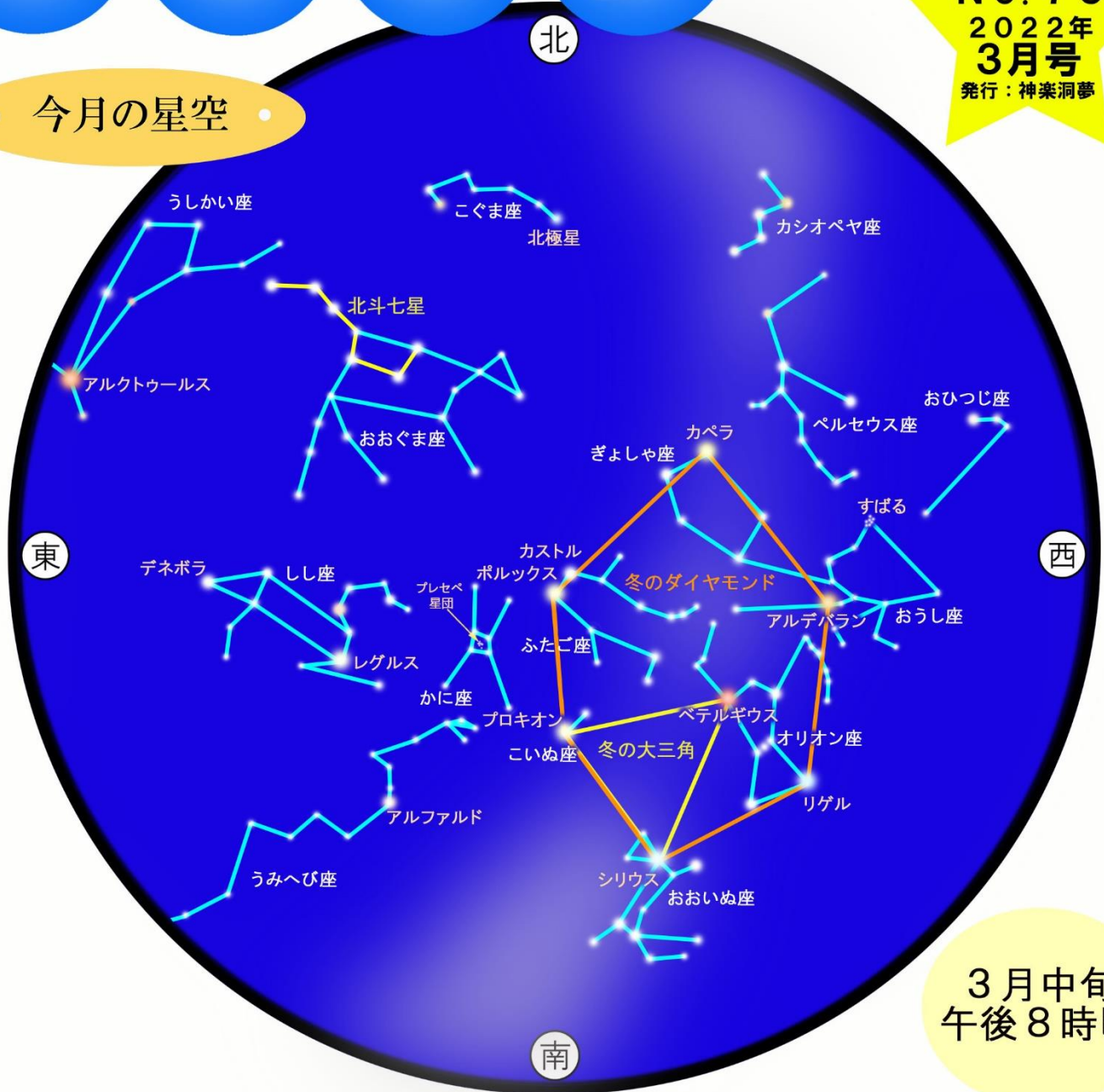


神楽通信

No. 73
2022年
3月号
発行：神楽洞夢

今月の星空



3月中旬
午後8時頃

東の空から春の星座たちが姿を見せる時期になりました。かに座を筆頭に、1等星レグルスを持つしし座や、北斗七星が目印のおおぐま座など、生き物の星座が昇っています。他にも、北の空には北極星を持つこぐま座、南の空には細長いうみへび座も見えています。生き物の姿をイメージしながら、春の星座を探してみてください。

プレセペ星団

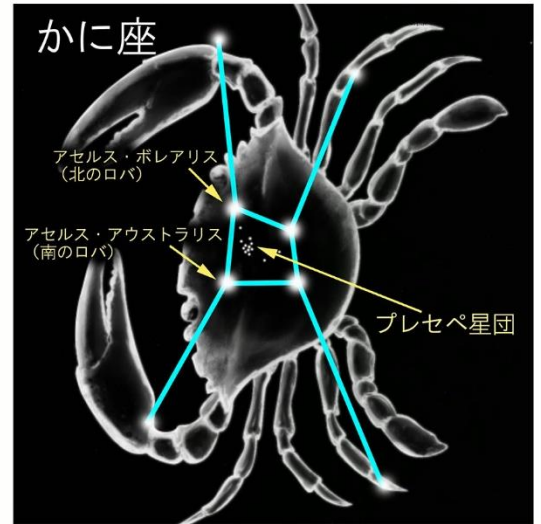
かに座には、プレセペ星団と呼ばれる星の集まりがあります。今回はプレセペ星団をご紹介します。

プレセペ星団はかに座の中央に位置する天体です。「プレセペ」という名前はラテン語で「かいば桶」を意味します。そばに見える二つの星を、桶から餌を食べる2頭のロバに見立てたことに由来します。

プレセペ星団は肉眼でも、ぼんやりとした雲のように見えます。その様子を古代の人々は、亡くなった人間の魂が天に集まる場所と考えました。望遠鏡で拡大すると、ここには多くの星が集まっている様子を見ることができます。

プレセペ星団のような天体は「散開星団」と呼ばれており、青白い星が数百個ほど集まっています。プレセペ星団は青白い星たちの中に赤やオレンジ色の星も輝いているのが特徴で、色の対比が美しい天体です。

多くの星が集まるプレセペ星団の中には、惑星が発見された星も見つかっています。観測を続けていくと、いずれプレセペ星団の中から地球と似た惑星が見つかるかもしれません。(原田)



プレセペ星団 (提供: NASA Image Credit & Copyright: Bob Franke)